

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
1	義務教育学校	9年間を見通した教育という考え方は良いと思う。	[REDACTED]	[REDACTED]
2		9年生まで同じ施設で学習し、教職員も同じ教員室ということが、イメージがなかなか湧きませんが、子供を長い目で見取ることが出来る良さがあるのかなと感じました。		
3		義務教育学校となり、9年間の視点で子供たちを指導できることは、とても楽しみです。異学年交流が進むことも興味があります。		
4		小中連携がスムーズに行われるため、とても良い計画だと思います。		
5		義務教育学校の様子が分かり、9年間の良さが少しずつ分かった。9年生と1年生がペアを組むことで、見通しが持てることは良いと思う。		
6		小中一貫型より義務教育学校の方が統一感があって良いと感じた。		
7		9年間のスパンで子供たちを育てることを念頭に置くと、小中一貫型より本計画案の義務教育学校にという提案に賛成である。義務教育学校ついて、一つの教員組織で子供たちを育てていくという意識を、何より教員が持つことが大切であると思う。9年間を大きくとらえての教育課程の柔軟な編成を魅力である。		
8		義務教育学校で9年間を「4-3-2」等に区切ることが出来るのは発達段階から考えるといいように思う。		
9		義務教育学校はとても魅力的だと思います。牧之原市の未来にとって素敵な贈り物になると思います。		
10		子供たちのことを思って、より楽しく、より学びやすくする学校づくりなので、とても良いと思いました。		
11		義務教育学校とすることで、より意義のある学校再編になると思う。長期間の対応感謝しています。		
12		全体的には、本基本方針に賛成です。		
13		小中の授業研修の交流増加		
14		小中連携による学力保証。 [REDACTED] 児童生徒に対しては9年間を見据えた学びは有効だと思います。		
15		9年間の連続性の中で、児童・生徒の育ちや学びを見取れること		
16		学区の教職員が同じ思い（同じプロセス）を共有しながら、生徒にかかわれること		
17		義務教育卒業後を見越した就学支援が行われること		
18		中1ギャップの解消。		
19		継続した支援ができること		
20		義務教育学校になると、小中での繋ぎがスムーズに行われると思うので、良いと思う。		
21	学年の区切りと活動	今までの低・中・高の分け方等がこれからどうなるのか。小1→中3が同じ活動を行うメリットもあるが、心配なこともあるなと思いました。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
22	教職員の意識とカリキュラムづくり	<p>小中両方を経験した者として書きます。小学生と中学生では、発達段階や実態が違うので、教員側が「言葉遣い」「説明の仕方」「指導するときの意識」などを切り替えることが求められます。まず、小中それぞれの先生方は、その必要性を認め、覚悟しなくてはなりません。「中学生に指導するのが怖い」とか、「小学生に柔らかい言葉で接するなんて気恥ずかしい」などの「やだやだ意識」は捨ててかかることです。そうしないと、小中の先生の間で「いさかい」が発生します。</p> <p>そうはいつても、9年間継続して、どの先生も一貫して指導すべきことはあります。それを全員がよく話し合って理解して、その方向をブラすことがないようにしたいものです。その意味で、市が出してくれた「未来の子どもたちのための～」や「目指す方向」は大変参考になります。</p> <p>しかし、あまりメリット、メリットと「よい面」だけを強くアピールしすぎない事です。先生方のやるが増え、結果的に何を大切にしているかわからない、一体感のない学校になってしまう事は避けるべきです。1学年の学級数が増え、子供の数が増えれば、それだけで手間と時間がかかり、問題もたくさん出てくることは大規模中学校を経験した者であれば十分理解しているはずで。まずは中学卒業時にどんな人間になってほしいかをできるだけ絞って具体的に描き、逆算して小1までの目標を定めていってほしいと思います。</p>		
23	効果に期待	<p>どんなふうにも再編されるのか、ほとんど知らなかったのですが、今日の研修で大きく変わるんだ、ということは分かりました。5年生以上の教室は自分の部屋がある方が落ち着いて生活できるように思えました。9年間をどんなふうにも区切るのかでいろいろな効果が期待できるのはいいと思います。</p>		
24	子どもたちの成長	<p>より多くの同年代の友達などが出来ること、又、幼い頃から中学生などの年上の人たちが近くにいることにより、子供たちの今後の見通しも持ちやすくなりそうだと思います。</p>		
25	自然を活かした場所と活動	<p>教務の広島市の視察の報告を聞いてかなり現実的なイメージが湧きました。敷地の図を見て、専門の教室などがあり、夢があると思いました。牧之原市は自然環境も豊かなところなので、それを活かした学校になると良いと思います。例えばタブレット1つ肩に斜め掛けにして、裏の川や山に行くとか素敵です。</p>		
26	指導	<p>多くの教員が多くの生徒と関わること、さらに、個に対する支援もたくさん行えること</p>		
27		<p>3学年から9学年の集団との交流における生徒指導</p>		
28	先進地参考	<p>義務教育学校になるメリットはよくわかりました。規模は違いますが、本川根や中川根学園の教育活動が参考になりそうです。</p>		
29	違いが分かった	<p>義務教育学校と小中一貫校の違いがよくわかりました。</p>		
30	特別支援	<p>特別支援教育の推進</p>		
31		<p>不要なことを一度リセットできる。</p>		
32	働き方	<p>業務の効率化</p>		
33		<p>PTA活動の効率化が図れること</p>		
34	節目	<p>小学校6年間・中学校3年間の節目は大事かと思います。</p>		
35		<p>たくさんの仲間と先生と触れ合う×12</p>		
36		<p>リアルな体験を大切に×3</p>		
37		<p>外との学び×2</p>		
38	メリット	<p>オンラインとのハイブリット化×3</p>		
39		<p>ICT教育×3</p>		
40		<p>学びのサポート×14</p>		
41		<p>心のサポート×9</p>		
42		<p>特別支援教育の充実×15</p>		

■ 学校再編計画 教職員アンケート (意見一覧)

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代	
43	メリット	キャリア教育×10			
44		義務教育9年間の組織づくり×12			
45		個別最適な学び×3			
46		防災・防犯×2			
47		安全に通学できるようになる×2			
48	教職員の資質・能力	1~9年生で自由度が増し、幅が広がるかもしれないが、その分、教員の力量も大切になってきて、大変そうに感じた。1クラス35人学級制だと厳しく感じる。			
49	メリットが分からない	義務教育学校の利点を、教育的根拠を示して提示してほしい。			
50		義務教育学校の利点について、もっと教育的根拠を示して提示してほしい。「進学実績がこれだけ上がった」「不登校率が減少した」など。例えば、学校の規模が1つの学校として1,000人を超えてしまうと、教育効果が下がってしまうのではないかと思う。そういう点で、川根本町で行う義務教育学校とは訳が違うと感じる。			
		51			今分かれて存在していることの意義、長所をきちんと総括して、それらをないがしろにしないようにしてほしい。日本人の特性として新しいものに飛びつくときに総じて古いものを「悪・劣」と捉えて切り捨てる傾向が強いので。
52		小・中 のよさが消える			今までの小学校教育の良さ(授業づくりで学級経営をする良さなど)と、中学校教育の良さ(専科制で専門的な知識が学べる良さ、部活を行う良さ)が両方ある学校になるように見えて、どちらの良さも消えてしまうのではないかと心配です。
53		小5 ギャップ			中1ギャップを解消できるといったが、話を聞くと5年ギャップが起こるのではないかと思った。
54		モチベーション			進級する際の緊張感がなくなる可能性がある。
55		分からない			義務教育学校の姿がよくわからないまま。
56	12月23日付静岡新聞「義務教育学校案」を提示=牧之原市の記事がありました。教育長の話として「新しい学校づくりへの理解を得られるよう、意見をいただきながら丁寧な説明に努めたい」とありましたが、義務教育学校の姿がよくわからないままです。				
57	規模	複数学級のよさ			快適でインクルーシブな環境の中で、子供たちが9年間を見通して学ぶことが出来るのはいいことだと思いました。ただ、イメージしきれない部分も多く、目標が達成されるための学校運営は本当に難しいだろうと感じています。この地区でクラス替えが出来るようになるのは、子供たちの人間関係を広げる面で大切だと思います。
58					複数学級になることはすごくメリットのあることだと思います。今後、子供の数が減って、スタート時、例えば1クラス25人の3クラスが、35人の2クラスになる時、市として1クラス30人の定員として、3クラスにできるといいと思います。
59		多様性の中で育つ			多くの児童・生徒を、多くの教員・支援員で見ることが出来るのはとても嬉しいです。ぜひ実現していただきたいところです。
60					人は財産であり、その人が多く集まるところが作られることは、すてきなことだと思います。
61					多くの子どもたちと接して伸びていくことが、 子どもたちにとっても大切だと思います。
62					本校は単学級校であり、そのデメリットがたくさんあるので、ぜひ大きな学校となり、いろいろな人と関わってほしいと思います。
63		本来なら小規模校に通うはずだった子たちの、交流の場が広がっていくところが良いと思う。			

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
64	関係ない	未来を生き抜く力を付けていきたいと考えることは、今も昔も、大規模でも小規模でも変わらない。全ての教職員が願っているところである。だが、現状を考えれば牧之原市から出て行く子供たちは多いと思う。だが、それでも私達はどんな世界でもその子がその子らしく生きていく人を育成したいと思っている。それは、自分を支えるものを自分の中に作る手伝いと、希望をもって進みたいと思う心であると思う。それは、どんな学校でも育てられるのではないだろうか。		
65		1000人規模の学校になったら、教育的効果が下がるのではないか。川根本町とは訳が違う。		
66	教育効果に疑問	9年間になることで、職員の数も子供の数も増え、個々が埋もれてしまうのではないかと心配になる（人数が少ない学校の方が1人1人に目がいき届き、大切にされているという実感があるため）。いじめや虐待などの事案を見つけないくなくなったり、1人1人に寄り添う教育がおろそかになったりしそうである。		
67		小規模校の利点（校外学習等の小回りが利く）を継続してもらいたい。		
68	規模 小規模校のよさ	ここで何を言っても、牧之原市は義務教育学校設置に向けて突き進んでいくのでしようから、ちょっと無力感を感じます。ただ、義務教育学校設置の話聞いていて、義務教育学校を設置すれば、いろいろな教育問題が解決するようなイメージでいるのは大きなまちがいではないかなと思います。 例えば、学校の規模が大きくなれば、たくさんの仲間や先生とふれ合えることが利点として挙げられていますが、子供の人数が増えれば、子供同士の人間関係も複雑になり、担任が一人一人の子供につける時間も制約されるのではないのでしょうか。現在小規模校で行われているような手厚い指導はできなくなるように思います。小規模の集団で人間関係の持ち方を学んでから社会に出る方が、これからの社会で通用するような気がします。牧之原市の予算の枯渇により、再編せざるを得ないということとするならばいたしかたないが、現在牧之原市のそれぞれの学校が、特徴ある教育活動をし、地域との連携ができあがっており、教職員の先生方が自分の学校の教育に自信とプライドをもって教育活動を進めていて、子供たちも自分の地区を愛している。小規模の学校では、小規模だからこそ地域も職員もまた、大きい子は小さい子を見るなど、きめ細かな教育活動を行っている。再編することが、子供達に取って良いことだとは思わない。特にコミュニティスクールなど地域と密着する活動を推進しようとしながら、一方では再編を進め地域から離れていくようになっていくようにしていると思う。		
69	不登校等の心配	大規模校になり、自宅から遠くなり、登校渋りや不適応を起こす子が出るのではないかと心配する。		
70	目が届かない	おそらくかなり広大な敷地内で何かあった場合、把握が難しいのではないか？（目が届かないと悪いことをする温床になることが心配）		
71	学校の独自性等	再編によって、今ある学校の独自性や教職員の自主性が奪われることにならないように祈っている。		
72	校数	職員数・予算	学校数が減る分、職員数を充実させたり、予算を減らすことなく集約してほしい。	
73	人口減少	子どもの減少に伴って統合は致し方ないと思っています。		
74	学校区	自由化等	菊川や牧之原学区の住民の声をしっかり聞いて欲しい。可能なら発足時から牧之原の児童生徒も通学できるように。また、相良学区、榛原学区と分けなくて牧之原で一つの義務教育学校として、相良教場、榛原教場としどちらに通っても良いとか、小学校までは相良で中学から榛原、授業は別で社会活動は合同など、柔軟な対応を。特に牧之原地区はどちらにでも通える様な配慮を。	

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

	分類1	分類2	意見	学校名	年代
75	学校規模	慣れと特性	今まで「地域＝広くても小学校区」という考えを、小1から中学校区と広げられることも初めは戸惑うと思いますし、新学区の中でもそれぞれ地区による違った姿もあると思います。		
76	教育課程	行事	自分の子どもが実際に義務教育学校に通学することになるのですが、区切りとなる儀式、入学式、卒業式は今まで通り行ってほしいです。修学旅行もカットしないでほしいです。行事の精選は必要ですが、子どもの貴重な思い出を削ることだけは避けてほしいです。		
77		区切り	今まで6年生が「リーダー」の位置にあったが、そういったものが最後の9年生?のみになってしまうのは良くないと思う。それぞれの単位で「リーダー」育成ができるように工夫してほしい。		
78		地域を知る学習	小中一貫教育になる良さがとても多くあり、実現できれば子供たちにとって、とてもいいなと思いました。ただ、子供たち自身が住んでいる地域の良さを知る機会は、広い地域になっても大切にできたらいいなと思います。		
79		個別最適な学び	収容人数は多くなるのだが、個別最適な学びの実現は必要不可欠であるため、あらためて個を大切に教育の具体策をきちんと考えたい。		
80		発達段階に合わせた教育の実現	教育課程が柔軟に分けられるようにしていただいて、中3が受験を控えている中で、下の学年をお世話する係になりすぎないように配慮が必要だと思いました。私立は中高一貫教育を進めているので、中3への負担の軽いかんでは、公立を不安に思う保護者も出るように思います。今、中学が小学校に合わせる人が多いので、中学生の発達段階に合わせていける、小中一貫を目指してほしいと思います（進路、生き方、指導等）。やるのであれば、より良いものになるよう考えていきたいです。		
81	特別支援学級	2人体制の指導	支援級は最大8名になると（子供8・教員1）とても苦しいです。小規模校だからこそ、少人数での個に沿った支援ができやすいです。低学年は1学級2人体制という事でした。支援級でも1学級2人体制をお願いします。		
82		運営方法	特支の学級も今の小規模校が1つ作れるくらいになると思うが、その運営、経営はどのようにしていくのですか？		
83		教室配置	支援級の教室の配置を配慮していただきたいです。		
84		通常級と同階	支援級の子との交流がスムーズにできるようにその学年と同じ階に教室があるといいです。		
85		人数	特別支援教育の充実についても、支援学級に所属する子供が増えたとき、1クラスの人数は今よりも多くなるのではないですか。現在、 支援学級は1クラス2人ですが、それでも手一杯です。1クラスの人数が増えたとき、特別支援学級を担任する先生の負担はより大きくなると思います。		
86	再編に向けて	思い	次代を拓く力を育成するという視点で、この再編計画を前向きにとらえ、自分のできることをやっていきたいと思います。		
87			小中連携するメリットを十分に活かして、開校までの準備期間を過ごしていきたいと思った。小学校教諭として、9年間の義務教育を系統立てて学ばいいチャンスだと捉え、前向きに学び、準備していきたい。		
88			システムが変わっても教えることは変わらない。笑顔や夢のある学校をつくってほしい。		
89		パラダイムシフト	学校の教員として必要なことは、我々の意識改革であり、目指す学校理念の共有だと思う。教育委員会と各校の校長のリーダーシップで、子供たちの明るい未来を願いながら、肅々と進めていきたい。自分事としてとらえつつ、今年で定年退職の私としては新しく設置する学校の近くに住んでいないので、温かく見守ることと一地域住民として、きちんと支えていきたいと思う。		
90			義務教育学校立ち上げに大きく関わること、“教職員の意識”、“発想の転換”。従来の意識や枠組みでは新しい教育の未来像は描けません。研修すべきこと、学び続けられないいけないことは何か、焦点化した6年間にしたいです。		
91			職員の意識改革と目指す学校像の共有から始めていかななくてはならない。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
再編に向けて	パラダイムシフト	92 義務教育学校にすることで得られるメリットは十分に理解できます。校舎が新設されることも非常に魅力的ではありますが、1つの学校として教職員の意識改革を行うことと、予想しきれない新たな課題に対して多忙感をいかに生み出さずに進めるかということが重要になってくると思います。学校を築くのは結局のところ働く人です。働く人たちがやりがいを感じられるような仕組みを考えていただきたいと思いました。		
		93 視察から見えた小中一貫型のデメリットにあるように、小中の教員の意識が変わらないと小中一貫にする必要がなくなると感じます。小中一貫校がスタートする前に、小中の教員同士ですり合わせが必要かと思います。この意識のズレはずっと言われてきたけど、平行線のままの課題だと思っています。この数年で解消できるかというのも疑問です。		
	94 今からやること	9年間というスパンで児童生徒を育てる必要性は本当によく分かります。小中一貫校・義務教育学校だけでなく、既存の小中分離でも市の教育委員会として、柱を考え、まとめるものではないですか？牧之原市、前榛原町のころから、小中交流とか、小中連絡会など重要視してきたこと。今のスパンで考えられない課題を洗い出してみたらどうでしょう。それは新しい学校でも活かされるのでは。		
	95	他校との連携の必要性を感じた。		
	96	他校との連携の必要性を感じた。		
	97	学校間の連携 牧之原小・中のような距離が近い学校ならば、学校再編に向けて定期的にお互いの仕事内容や雰囲気を見たり、聞いたりすることが可能であるが、小学校と中学校の距離が遠い地区では難しいと思う。		
	98	義務教育学校に8~10年後になるためには、やはり地域の理解・保護者の理解が必要だと思う。子供たちがたくさん集まって学ぶと良いことがたくさんあるという思うを保護者が感じないと進んでいかないのかなと思う。そのためには、小小連携が必要で、これからもっと他校との連携が必要だと感じた。ただ、今までの年間計画にさらに上乗せになると授業が圧迫されてしまうので、カリマネがすぐに必要だと感じる。		
	99	教育目標等 統合に向けての準備期間には、相良地区、榛原地区ごとに学校教育目標、重点目標、学校のルールなどを共通のものにして、数年間実施する必要がある。		
	100	具体的なイメージ 9年間を見通してカリキュラム等を編成していくことは、子どもの学びの姿を見据えたり、児童生徒が減少していく中で考えて行ったりすることは大切だと思います。やってみなければわからないことも多々あるかとは思いますが、枠の部分だけでなく、実働の部分も具体的に（例でも良いので）示してもらえると、もう少しイメージがわくように思います。		
	101	具体的なイメージ 計画を見ると、再編された学校が開校されるまで、あつという間なのだと思います。遠い未来の話ではなく、もうすぐそこまで来ているのだと思うと、ワクワクした気持ちがありますが、不安な気持ちも正直大きいです（何が不安かというのは自分自身もよく分かっていないのですが、そこで働いているイメージが持てないことが不安なのだと思います）。色々なことが明確になって、子供たちも混乱することがないようになるといいなと思っています。		
	102	具体的なイメージ これからのスケジュールは分かったけど、ぼんやりしていてよく分かりません。他県の情報（設立して長い学校）をもっと集めてみんなに分かるようにしてほしい。教職員が理解するのはもちろんのこと、地域の方や保護者にももっとわかるように示さなければいけないですね。		
	103	ロードマップ 我々教職員や保護者、子どもたちが学校再編に向けて、1年間もしくは数年間のうちに、どんなことをすればいいのかを具体的に教えてほしいと思う。		
	104	ロードマップ 教科や授業の内容に合わせた少人数指導や個に応じた指導に魅力を感じました。ただ、実際は決めなければならないこと、やるべきことがとてもたくさんあるので、本当にスケジュール通りにいくのか不安です。形だけの義務教育学校ではなく、中身がしっかりと充実した義務教育学校となることを願います。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代	
105	ロードマップ	多くのメリットがあることは分かりましたが、それ以上に「小中間での意識の統一」「システムのすり合わせ」「系統性の把握」等々、多忙化に繋がることが多くあると思いました。職員数、児童数が増えることはプラスもありますが、共有・運営していくことの難しさは増すように感じます。実施までに、具体的かつ簡潔なカリキュラムが欲しいと思いました。			
106		先進校の開校に至るまでの手順を知りたい。			
107		ロードマップを示し、1年1年にどんなことが具体的に決められて開校に至るのか、見えるようにしたい。（特にソフト面）			
108		ロードマップに示される1年1年にどんなことが具体的に決められて開校に至ったのか、特にソフト面（学校に関わる場所）が具体的に見えるようにしていけると良いと思う。教員の不安は、どう進めていったらよいか具体的に見えないところだと思うので、先進校（すでに開校したところ）の手順を詳しく知りたい。			
109		学校再編準備室を中心に現場の職員、保護者、いろいろな立場の人が、何をいつまでに考え、決めていくのかのロードマップを基に準備していきたい。職員も自分事として考え、思いを入れていきたい。			
110		ロードマップの作成と提示→やれることは準備委員会を待たず、小中連携事業を通して前倒して統一していく			
111		令和12年度開校ということですが、それまでにやることが膨大にあり、本当に間に合うのかなと思いました。			
112		義務教育学級の教育課程をどのように組んでいくか、今後研修を深めていきたい。			
113		小学校免許状のみをもっている教員を対象として、5・6年で希望する専門科目の選択と研修の機会の確保（中学校に配置されている教員だけでは、現状回らない）			
114		再編に向けて	小1～中3の先生で教科の研修を行いたい。それぞれの子どもの発達段階を踏まえて、どのような授業作りが最適か考えていきたい。		
115		再編に向けて	設立された義務教育学校の職員となるであろう若手教職員向けの、学校再編について知るための研修が必要だと思う。		
116	研修・すり合わせ	小学校では授業づくりが学級経営において大切な柱となっている。専門教科の先生が教えるのは良いことだと思うけれど、授業スタイルの違う色々な先生が学校に入ること学校経営が出来るか不安。小中の先生と研修をすり合わせていく時間が必要だと感じる。			
117		小学校教員と中学校教員が共同研修を行うなどの機会を作り、ビジョンの共有などの連携を強化させたい。			
118		義務教育学校に向けて、職員の研修体制をしっかり整えてほしい（誰が配属となるかは分かりませんが…）と思います。義務教育学校となると、小学校・中学校の職員だったイメージが強く、いきなりだと職員同士の連携や動線など、スムーズに機能しないと思われます。			
119		小学校・中学校の先生方が混ざるということで、スムーズに行えるよう、事前の研修を充実させてほしい。			
120		それぞれの学校における行事や活動のすり合わせや一本化はどのようにしていくのか。難しい。			
121		9年間を見通した教育をするために小免や中免を持っていない先生方に研修の機会を…。可能なら免許取得の方策を…。			
122		義務教育学校を設置することが必ずしも子供の未来のためになるとは思えません。義務教育学校の設定に向けて、少しでも子供たちやそこで働く教職員が学校を統合してよかったと思えるように、十分検討を重ねていただきたいと思います。			
123		実現に向けては、丁寧によく考える必要がある。			
124	検討組織	広島市の視察で学んだことは牧之原の実情に合わせて変わってくると思う。9年間の学びの姿をイメージして、カリキュラム編成や組織の在り方を考えたい。			

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
125	検討組織	牧之原市で行ってきた研修組織を使って、義務教育学校に向けた検討をし、まとめていくべきだと思う。準備委員会から示されたミッションについて、助言者である校長先生と部長のもとで職員一丸となって準備を進めていきたい。		
126		共通の目標づくりや教育課程を編成するために、統合予定の学校が合同で教育課程編成会議を実施したい。		
127		日々の営み（通常の活動）がある中でのプラスαになるので、出来るだけ早く担当組織なり、中心となるべき準備委員会なりを立ち上げた方が良いと思う。		
128		開校準備は、日々の教育活動にプラスαになるため、担当組織や準備委員会を立ち上げて組織的に進められるようにしたい。		
129		教職員のボトムアップにより義務教育学校化が進むような組織（小委員会）の確立とその運営（ミドルリーダーの育成）		
139		教育委員会と各校長のリーダーシップのもと子供たちの明るい未来を描きながら粛々と進めてほしい。		
130		交流・対話	小学校教員と中学校教員がもっと交流したり、話し合ったりする機会が必要だと思いました。	
131	小中がどれだけ再編に向けて同一歩調で取り組んでいくかが大事になるかと思えます。			
132	通学方法等課題は多いかもしれませんが、協議を重ね、子供の成長につながる義務教育学校になればと思います。			
133	教職員と地域住民が合同で学校再編について協議する場が欲しい。			
134	学校の中のあらゆる職種の人に意見を聞き、児童・生徒・職員が過ごしやすい、活動しやすいような環境にしてほしい。			
135	また、教育内容は変えられるが、校舎は一度作ったら変えられないものである。したがって、予算優先ではなく、多くの人の意見を聞き、教師、子ども、保護者、地域住民の思いを汲み取り、できるだけそれらの意見が反映された校舎としてほしい。			
136	子ども像の検討時期		どういう子供を育てたいか…等は、学校目標や重点目標もどんどん変化するので、今から考えなくてもいいと思う（学習指導要領も変わるだろうし）。	
137		中学校区ごとの目指す子ども像の共有等が、あまり早くから始まってしまうと、負担も増え、見通しも立ちにくいので、制服などと同じように4~5年前からにしてほしい。地小の場合、御中学区との関わりも残っているため、両方に揃えるのは、非常に難しいです。		
138	情報提供	決まったことをその都度教えていただきたいです。		
140	学校のきまり	小中学生の規則の徹底をすると、子供にとって分かりやすく、納得すると思います。		
141	制服等	制服や体操服、校歌等はまだまだ先でいい。		
142	学用品	学用品や赤白帽子(?)など、今のうちから学校間で揃えておくが無駄がないと感じた。		
143	先進地視察	義務教育学校について見識を広げたり、理解を深めたりするために、実践校を視察する機会が欲しい。		
144	地域に合ったもの	いろいろな地域の現状をよーく勉強して、この地域に合った学校づくりをしてほしいです。せっかく作ったのに、なんだこれは?!とならないようにするために・・・。		
145	働き方	合併作業における教職員の多忙感が期待感を上回ってしまうと厳しい		
146		再編で、教員が忙しくならないようにしてほしいです。		
147		色々決めなきゃいけないことがありますが、どの学校の誰がその会議に参加するのか…。考えられるのは、今も分掌が多い職員が会議に出席するということです。そうなるのかなりの多忙です。		
148		再編するにあたる中で、自分たちが出来ること、働き方が変わるところが気になりました。行事の在り方も変化するなど感じました。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
149	再編に向けて	働き方	[Redacted]	[Redacted]
150				
151	組織マネジメント	学校再編が成された時、40代になってから部活動を持つことになったり、中学生の授業をすることになることに不安があります。		
152	適正な分掌	小組織でも、連携は簡単なことではないが、そこまで大組織となり、子供のための教育ができるかが疑問…。組織マネジメント力が試される。		
153	計画的な人事	準備会が始まっていく中で、教務関係、研修部関係等担当となっていく先生は、校務分掌も軽減するなど配慮していくべきだと感じた（他団体で請け負う部長なども含めて）。		
154		小中の交流はとても大事ですが、すでに交流をしている学校の様子を聞くと、うまくいっていない様子もあるようです。		
155		[Redacted]。交流を進めながらも、それぞれの専門性を活かした人事に配慮してほしいと思います。		
156		小中の系統を知ることは大切なことだと思うが、安易に、当人の希望がないのに、免許があるからということ、小→中、中→小の配置は控えてほしい。		
157		教職員配置が大きな課題となるため、R5年の人事から少しずつ見直しをもって進めていただきたい。		
158		人（スタッフ）を増やすのはとても賛成です。でも、人材確保を計画的に進めていただきたいです。		
159		1学級2人担任となるくらい教員を増やしていただくと、変化の対応ができると思う。		
160		多くの教員で子供を見ていけるのが良いと思いました。		
161		登校を渋る子、授業に集中できなくて教室に居られない子など特別支援や生徒指導を要する子が近年増えている。それぞれの学校で級外を中心に別室で対応している。義務教育学校になると、子供の数は増える。よって、個別支援を要する子も増える。それらの子に対応する職員が必ず必要になると思う。級外の確保もお願いしたい。		
162		再編した後、定数に基づき、学級数に応じた職員数の配置になると、特に小学校の小規模校において行えていたきめ細やかな指導が出来なくなると危惧する。もちろん、中学校においても、現在、様々な生徒に対応できるだけの職員数は足りていない。市独自で、支援員ではなく、教員の増員をお願いしたい。子供が学びやすいと思えるためには、教職員がゆとりを持って働ける労働環境が必須である。		
163	出来る限り教職員の人員も充実させていただければと思います。			
164	教員が増えると、分掌が減ったり、責任感が持てなかったりするの、心配です。			
165	義務教育学校になることで、教員の多忙化になることは避けたい。十分な教員数を確保してほしい。特に開校当初は混乱が生じることも考えられるため、また、大規模になることから教員は必要だと思われる。			
166	教員同士の指導	若手教員が増える中、教員数も学校中に増え、先輩教員から教えてもらえる機会が増えることもいいなと思います。		
167	教頭複数配置	最初の年度からしばらくは、学校の体制を整えるのにとても大変だと思います。教頭の複数配置が出来ればと思います。		
168	外国語の専科教員配置	ALTの常勤よりも、外国語については専科をつけるべき		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
167	教職員の体制	給食管理や食育推進に必要な数の栄養教諭の配置をお願いします。		
168		事務職員の複数配置をお願いしたいです。		
169		統合した場合、事務職員、養教さんなどの一人職の負担がない人数配置をしていただきたい。		
170		養護教諭はおそらく2人配置になると思いますが、どのような役割分担にするかなどは、もっと具体的になってこないと分からないな～と思いました。		
171		養護教諭や県費事務職員、市費事務職員の配置人数についても情報があれば知りたいです。		
172		養護教諭が各校1人の配置だと牧之原市で4人だけになってしまうので、組織として成り立つのか・・・不安が大きいです。		
173		支援員数 低学年各学級に1支援員の複数体制は歓迎です。9ヵ年なので1～4年生は必要だと思います。		
174		教員以外のスタッフ 中1ギャップが解消されたり、9年間の成長を複数の教員で見守ることが出来る反面、規模が大きくなり、一人職の負担が大きくなりかねと心配になります。役割を分担したり、職務に専念できるようなスタッフの配置が必要だと思う（例えばスクールサポートスタッフ等）。		
175		負担感 メリットに「〇〇ができる」とあるが、結局教員の意識の問題による。デメリットに、教員の意識は変わらないとあることから、負担感をもたらすことになりそうである。		
176		免許		
177	原則とはいえ、小中両方の教員免許状を保有していることが必要だとすると人事面で困難が生ずることが考えられる。			
178	教科担任制	対象 教科の教科担任制は賛成ですが、国語や算数の主要教科の教科担任制には反対。 全部教科担任では学級経営が難しい。		
179		小学校の担任制は残しておくにしても、早めに専門教科の先生が指導する形を取ればと思います。特に小学校高学年になってきたときに専科ではないと中身の無い学びになってしまいそうです…。		
180		6年生までの教科担任制は技能教科に絞る方がよい。		
181		実技教科の専科制の充実には大賛成です。自分の指導に自信がない部分もあるので。ただ、国・算の指導なしで学級経営というのは想像が付きません。結局、小5ギャップが起きるのではないかと不安です。		
182		よさ 小学校のよさ（担任が授業をもつよさ）が消えてしまいそう。		
183	免許	受講支援 義務教育学校になってしまうのは理解しましたが、私は小学区の先生になりたくて教員採用試験で「小学校」の採用枠を受験しました。なので、いきなり中学校の免許を取って中学生の指導をするように言われても正直困るなと思いました。もし、中学校の免許を取得する義務があるなら、受講するときのサポート（勤務時間外に受講をしない、何らかの補助等）の配慮・支援をしていただきたいと思いました。		
184		小中両方の免許が必要であれば、片方しか所持していない職員への手立てを講じてほしい。		
185	施設の機能	居場所 休み時間に子供たちが居る場所をつくってほしい。5年生以上にも教室は必要。		
186		子供たちがいる場所（休み時間など）を必ず作ってほしいと思います。大学生みたいに教室を移動しても、必ず子供が落ち着く場所があるようにしてほしい。		
187		規模 設備（グラウンド、体育館、プール、ネット）を人数相当で考えていただきたい。（グラウンドを2つ：400m・200m作る等）		
188		9学年が一緒になる事、学級数等の面から、運動場や体育館等の施設は十分な広さまたは数が必要になると思います。		
189		教室 個別の対応の子が増えると思うので、空き教室や温かみのある部屋がいくつかあるといいです。		
190	5年生以上も教室があった方がよい。			

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
191	死角をなくす	敷地が広大になる分、安全面にも十分な配慮が必要になってくると思います。特別な支援を必要としている子どもも多くいます。死角をなるべくなくし、大人が把握しやすいような設計をしていただけるとありがたいです。		
192	施設・設備	榛原中規模で、義務教育学校になった場合の施設・設備面に不安があります。 担当が音楽ですが、小学生も音楽室で授業をすることが多いです。その場合、音楽室だけでも最低、3教室くらいが必要になります。また、実際に授業を始めるにあたっては、打楽器なども小学生の音楽で使用すると、中学校の部活動で使用するのは分けていただきたいです。（部活動で使用する場合、楽器の状態がコンクールの結果に大きな影響をおよぼします）そうすると、準備室の規模も大きくなると思います。（または、楽器室を別に作る必要が出てくると思います）他の特別教室を使用する教科も同じように複数教室が必要になっていくと思いますが（これまでよりも数を増やす必要があると思いますが）、この規模での施設一体型の義務教育学校のイメージがつかえません。実際にその規模の校舎が建てられるのでしょうか？		
193	設備の充実	インターネット環境の整備や施設の整備が整うと良いと思います。楽しみにしています。		
194		今回のWi-Fiの件もあるので…。ハード面で十分満足できるようなものを導入していただきたい。導入して使えないだとなかなか厳しいです。		
195		教職員がストレスを感じない（教材準備、施設面など）学校を作って下さい。教室にはプロジェクターが天井に整備されている、校内放送が動画でできる学校をぜひお願いします。		
196		施設・設備の充実をお願いしたい。		
197		共有物・スペースの数・使用方法	特別教室や教具を使う際、小さい学校なら担任同士が直接話をして変更などがしやすいのですが、大人数の学校でお互い気持ちよく使うには、かなり先を見通して（それがなかなか大変ですが…）教室や教具を前もって予約する必要が出てくるのではないかと思います。パソコンで予約欄に入力していくようにするのか、職員室などのボードに示すようにするのか、教師の負担にならない良い方法ができると思います。それ以前に、取り合いのようにならないために、教室や教具が十分に確保されていれば安心だと思います。	
198	特別教室	地区で2つにするとすると、1つの学校でかなりの人数になると思いますが、特別教室の数とかは増やしていくのでしょうか。		
199	配置	基本的に1学年で1フロアにしたい。あくまでも学習と生活の場は学年別で、交流する場合は別途、交流できる場所で行う。		
200	バリアフリー	ぜひバリアフリーに。いつ足や目など不自由な子供が来てもすぐに受け入れられるようにしていただきたいです。		
201	グラウンド	グラウンドは人工芝やコンクリートよりも土がよい。理由としては、①コンクリートでは身体的な負担が大きく、怪我等が多発する。②自由にラインが引けない。		
202	体育館	9年生までが使用するとすると、体育館の規模や数が気になりました。		
203	プール	プールは今までのように1校1プール・管理は学校というのはとても大変だと思います。1つのプールで小中全クラスが使うことは不可能だと思います。ぜひご検討ください。		
204	不応教室の開設	学習や登校に不応を起こしてしまう子どもが増えてしまう事が予想される。ぜひ不応教室を開設してほしい。		
205	メンテナンスしやすさ	校舎などのデザインも素敵なものにしてほしいと思うが、後々メンテナンスに困らないような建物にした方がよいと思う。		
206	歩行者と車の動線	校門周辺の子どもの動線とバスの動線、保護者の車の動線が安全になるようにしてほしい。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
207	割り振り	施設が1つになると、特別教室や体育館の割り振り1つとっても良く計画しなければならぬと感じた。		
208	一体型のメリット	小中一貫教育は分かるが、施設一体型が本当に有効なのか（例えば、体育館、プール、階段の高さ等）児童生徒の個々に適応していないように思う。小中一貫校は小規模校で有効であり大規模（適正規模？）校でどれくらい効果的であるのか疑問です。		
209	意見聴取	実際の校舎建築については、児童生徒が居心地が良い、学びやすいことはもちろんですが、教職員の思いを最大限取り入れ、教職員にとって使いやすい学校にしてほしいです。		
210	財政	現在の牧之原市から児童生徒が減少していくのは、それだけ牧之原市に魅力がないからなのではないだろうか、未来を感じられないからではないだろうか。つまり、人口減少も税収も見込めないと予想されてしまう中で、牧之原市は今後未来への人材育成に対しどれだけの予算をかけていくことができるのかということも考えてしまう。外側の箱だけ作って中身は古い物だったり、新しい物に取り組めるだけの予算が年度年度で十分なかったり、はたまた、教育予算が削られ続けている現在から十分と思えるだけの予算を付けていただけるのだろうかと思う。		
211	給食	義務教育学校になった時の学校給食の提供方法をどのように考えているのか？学校給食は教育活動の一環として実施するものです。学校に付設した給食施設があることにより、知・徳・体の根幹にある食育がより充実したものとなり、それが児童生徒のすべての活動において、良い効果をもたらしていくものと思います。ぜひ、学校給食の実施形態の在り方についても十分な検討をお願いしたいです。		
212	あり方	2つの学校それぞれに給食室を作り、1名ずつ栄養教諭を配置してほしいです。各学校の実態に合った学校給食及び食に関する指導が出来ることを望みます。どうぞよろしく願いいたします。		
213	学習活動のしやすさ	今まではバスを使わず色々な施設の見学ができたが、今のところぐりんばる周辺では公共施設・商店等なく不便。地元との交流がしにくくなる（場の選び方、バスの利用手続き、急な予定変更の対応）		
214	場所	周囲の環境への配慮		
215	登下校の利便性	学校建設予定地は、津波の安全の他に、周囲が安全で安心できる環境であるかについても考えていただきたい。（例：火葬場、工場など）		
216		榛中学区ぐりんばる周辺は、ぐりんばるそのものだと登下校がとても大変だと思う。		
217		土地の買収ができるのか。まだまだ具体が見えてこないの、わかりません。		
218	地域のよさが消えるのでは	今の小学校区の地域の良さ（コミュニティスクール）をどう活かせるのか。消えてしまうのではないかと心配です。（地域に協力を求めたのに、勝手にやめてしまうようで、地域にも申し訳ないし、反対も出そう）		
219	CS	牧之原の各学校で、CSさんを中心に地域の良さを取り入れた教育を行っている。榛原地区、相良地区と広域になった時、この良さをどこまで教育の中に入れることができるのか、今ある地域と学校のつながりを大切にしたい教育を取り入れる方法を探りたい。		
220	つなげる	コミュニティスクールが今活発になっているが、学校が一つになり、それぞれの地域から遠くなると各地域の方が今と同じような地域との関わりが保てるのか疑問に思う。		
221		CSとしての実践・活動など、学校の特色として子供・保護者・地域から大切にされてきたものを、どう継続、活かしていくか。保護者の学校への期待は（この地域は特に）地域との関わりやその深さ故だと感じる。積み上げたものをどうつなげるか？		
221		今やっているコミュニティと義務教育学校の関連付けはあるのですか。子供たちにとって地域の良さを知るためにとても良かった。コミュニティスクールですが、もうそれはなくなってしまうのですか。さみしいです。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

	分類1	分類2	意見	学校名	年代
222	地域・保護者	理解の促進	地域や保護者の協力が不可欠だと思います。施設だけでなく、どんな方針で、どんな学校を創っていくのかを理解していただくことがとても重要だと思います。		
223			開校にあたって、反対を唱える保護者や地域住民もいると思われる。早い段階でそれらの主張を全職員で共有し、解消あるいは理解してもらえよう取り組む必要があると考える。開校後も含め、そのような意見も大切に考えたい。		
224	地域・保護者		教育関係者以外の市民にはなかなか周知が十分でないと思います。		
225			地域・保護者への定期的な報告と説明		
226			地域の方や保護者の理解が必要。		
227			地域の方や保護者の理解が必要。		
228			地域・保護者からの反対の声、対立への対応があるかもしれない		
229		理解の促進	保護者からの意見をもっと教えてほしい。		
230	保護者		保護者にとっては、自分たちの子供が通っている学校はなくなってしまうのか、何を目的に計画を実施しているのが不安になると思うので、何かしらの具体的な説明をする機会を設けて欲しいと思う。		
231			地域で様々なうわさがあり、早めに多くの方への説明を願います。		
232	地域		児童・生徒数の減少、校舎の老朽化といった現実的な問題ももちろんありますが、ここに挙げられた義務教育学校のメリットや目指す方向性を、地域の方々に十分理解していただいた上で、計画を進めていただきたいと思います。地域から学校が消えるということは保護者だけでなく地域の方々にとっても大きな問題ですから…。		
233			地域住民が现阶段でどれだけ理解しているのか？（牧之原市に住む私の両親は、あまりよく分かっていませんでした）		
234			地域の理解を得られるかどうかや周辺他地区の学校との細かな点の調整		
235	子ども	地域性	学区が広がることにより、子供たちが住んでいる地区との結びつきは弱まることは目に見えています。例えば、 地域の方が学校と関わりを持とうとしても、クラスの中に 出身の子供は数人しかいないという状況では、現在のような関わりは築けないと思います。		
236	子どもへのかかわり方	1人1人への対応	それぞれの学校における子供たちの問題も様々である。一人一人を大切に、問題を解決していかなければならない中、合同になる中で、埋もれたり、解決されないままほおっておかれたりしてしまう事も増えてしまうのではないかと、ということが不安である。		
237		いじめ	いじめ防止対策についても、法的側面からの支援が必要である。		
238	法的支援	スクールロイヤーの配置	人が集まるということは、それだけ多くの考え方が集まるということである。生徒指導1つとっても、これからさらに対応に苦慮するような事態が起こりうる。スクールロイヤーの配置等、保護者対応に備えていくことも大切である。「子供の最善の利益」という観点からの法的アドバイスが、いつでもいただける環境を整えたい。		
239		地域と見守り体制構築	防犯の面においても心配な面がある。学校が小さければ来校者はある程度把握できるが、大規模校になればそれが難しい。子供たちを見守る環境を地域と一緒に考えていきたい。		
240		セキュリティのバランス	牧之原市は治安が良いのであまり関係ないかもしれませんが、「開かれた学校」と「セキュリティー」のバランスの良い学校を造ってほしいです。		
241	部活動	教員外の指導	部活動の指導を外部へ委託していただきたいものです。		
242	不登校		市内の小中学校の大きな課題の1つである、不登校をできるだけ解決できるような学校再編であってほしい。せっかく新しい学校を作るのであるから、子供たちが楽しみになる夢のある校舎、教育方法、教育内容でありたい。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育総務課

	分類1	分類2	意見	学校名	年代
243	閉校	負担軽減策	開校の準備に、開校準備委員会の出番があると思うのですが、各校の閉校の準備等、負担が減るよう準備を願いたいと思います。		
244	放課後児童クラブ	場所	児童クラブを、学校から離れたところに開設してほしい（何かあるとすぐに教員を頼り、多忙です）。		
245		場所	学童保育の場所、学校からの移動方法を考えてほしいです。		
246	諸会費	収納対策	諸会費未納の対策をしてほしいです（入学時に児童手当から徴収する誓約書を書くとか、給食費は無料にするとか）。		
247	再編後	学校間の交流	子供ももちろんですが、教職員も榛原地域の学校と相良地域の学校との交流が出来ることを強く願います。不安な中スタートと思うので、よろしく願います。楽しみにしています。		
248		人口減少への対応	児童・生徒数が今後40年間で3,000人→700人になる。教室数、学校規模はこれにどのように対応できるのか？		
249	スピード感	施設の老朽具合	今現在の校舍老朽化を考えると、あまり猶予はないように思います。実際、メンテナンスが必要と思われる個所は多々あり、それが危険と判断されれば、近々使われなくなるであろう建物に膨大な修繕費用をかけなくてはならない場合も考えられます。スピード感を持った対応をお願いしたいと思います。		
250		判断を早期に	計画的に慎重に進めているとは思いますが、決断、判断は早い方が良いと思います。全てにおいて賛否があるとは十分に承知しますが、学校現場としては、根拠を明らかにしてもらえば、決断を受けて準備していけると思います。		
251		予算集中	学習環境の整備を進める意味でも、再編を加速させてほしい。各校でそれぞれやるのではなく、できるだけ校数を減らして、そこに資金等を集中させるのが良い。		
252	通学方法	距離	児童登下校の距離2.5kmになるとかなり大変ではないだろうか。（不安に思う保護者もいる）		
253		距離	徒歩2.5kmは明らかに遠すぎる。荷物を持つての登下校を考えていない。		
254		スクールバス	開校する学校が今の学区からは通学方法が徒歩では難しいと思う地区があると思いますが、スクールバス等になるのか、課題が多いなともいます。		
255		早期に	通学の面で大きな不安として、学区が広がることによる通学方法の具体を早めにしていただいた方が、今後通学を予定する家庭が少し安心できると思う。また、実現可能かどうか（徒歩か、自転車か、バス通学か）しっかり深めていただきたい。		
256			広範囲からの通学となるため、その具体案は早めに検討したい。		
257	伝え方	意識	教員は小中それぞれを自分の専門と自覚し研鑽を重ねてきた。それを「これからは他校種もやってもらうので研修しといてね～」のような言われ方をしたら、意欲が一気に削がれる…、とは考えないのですか。このような話を聞いた受け手としては大変遺憾に思います。		
258		映像	教員や地域の人たちへの説明の時、より具体が必要だと思う。実際に視察に行った方々は、行って分かったという感想を話されるので、施設の様子等映像で見せていただきたいと思います。		
259		写真や動画	義務教育学校のイメージが、文面だけだと伝わりにくいです。写真や動画などの実際を見せていただくとわかり易いと思います。		
260		先進事例	他県の取組を集めてもっと分かりやすく伝えてほしい。		

■ 学校再編計画 教職員アンケート (意見一覧)

R4. 2. 22教育総務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
261	反対 デメリットばかり	<p>反対。①中学校の教科を小学校の先生が教える件。⇒「専門性」の面からして、全然ダメ。専門性が考慮されていない。⇒それを「現場の努力だけでなんとかさせる」などナンセンス。我々の仕事がちょっと研修あればなんとかなる程度に思われていたとは…。残念。無念です。⇒そういう扱いをされては、教員の意欲低下につながる。</p> <p>②適正な1クラスの人数を…。⇒教育は数合わせてではない。⇒1クラスの人数が減れば、1人1人にきめ細かく指導できるのに、人数を多くしてしまうのは本末転倒。</p> <p>以上、再編の結果、教育の質の大幅な低下につながるので、反対。それ一択。⇒この計画は極めて行政サイドのみ有利であって、子ども・教員にとってメリットが無さすぎると思う。</p>		
262	地域の学校	<p>将来、牧之原小中学校の子供の数が減少していくことになるならば、早いうちに統合して、バスで通学することが普通だという思いになる方がいいと思う。ただし、自分の地域に学校があるから、その地域がまとまれる、という面もあると思うので、小中学校が統合されるのは残念だという思いを持っています。</p>		
263	小学校から	<p>一気に義務教育学校へ転換というのは不安があります。校舎の老朽化等を考えると合併して新しい校舎を建てる必要があるのかもしれませんが。そこでまずは、小学校を合併する形でスタートしてはいかがでしょうか。その小学校には将来義務教育学校にてできる設備を設置しておき、小学校の児童減少に合わせてそこへ中学校生徒が入っていく流れがスムーズなのではないでしょうか。</p>		
264	反対 デメリット	<p>十分な準備</p> <p>メリットは良く分かりましたが、デメリット・課題の部分も明らかにして、十分な協議と準備をお願いしたいです。</p>		
265		<p>再編のメリットが強調されているが、デメリットの部分はどう考えているだろうか。決して再編がバラ色ではないと思う。</p>		
266	地頭方地区	<p>御前崎中学校</p> <p>地頭方小学校の子どもたちは、相良地域の小学校に通うことになるが、中学校は御中に行くとなると、現行の6年・3年を撤廃することは、できなくなるのではないかと考えます。</p>		
267	あり方	<p>学校再編することでメリットを感じられました。しかし、牧之原小・中の再編がどうなるのか、気になります。再編がなければ、相良地区や榛原地区のような支援が受けられないのか、などが疑問です。牧之原小・中学区の子どもたちが幸せになれるような学校づくりを期待しています。</p>		
268	あり方	<p>いつもいつも2つの義務教育学校と牧小中の在り方をセットにして考えてください（ソフト面もハード面も）。忘れられることがないように。</p>		
269	あり方	<p>菊川市の再編が見えてきた頃、牧之原小中についてもR10年度（R12年度）～どうなるのか、また知らせていただけますか？（…知らせてください。）</p>		
270	牧之原小・中学校区 施設整備	<p>牧之原小中が今回の再編計画から外れ、とりあえず、学校が残ることが決まり、少し安心しました。コミュニティスクール、小中一貫に力を注ぐ方向付けがされたと思います。これで市が一気に義務教育学校づくりにシフトされていったときに、台地の上が置いて行かれるのではないかと危惧しています。最低限の安全のための施設の整備や一貫校として動けるための施設の整備はぜひお願いします。</p>		
271	小規模の独自性	<p>どんな子供を育てたいかの軸は同じ、そこで、牧小中の小規模の独自性が出てくれば、牧之原市としてもアピールできるのではないかと思います。</p>		
272	連絡通路の整備	<p>牧之原小中は、他の2校と比べて明らかに古い施設での学習になることが予想されます。連絡通路の設置だけは絶対をお願いしたいです。</p>		
273		<p>牧之原学区の存在</p>		

■ 学校再編計画 教職員アンケート（意見一覧）

R4.2.22教育給務課

分類1	分類2	意見	学校名	年代
274	現状 ICT	ICT教育に関することについても、ICT支援員がほしいのは、未来ではなくてタブレットが入った今ではないですか。例えば、川根本町では、タブレットを導入するに当たり、ベネッセと契約をして、月に何回がICT支援員が入ってくれました。こんなことをやりたいんだけど相談するとこういうやり方がありますよと提案をしてくれました。ICT支援員が入ってくれたことにより、教職員のICT教育に対する理解も深まりました。また、Wi-Fi環境に関する会社とも契約を結び、接続がうまくいかないときにはすぐに対応してくれました。■小学校に異動してから、しばらく自分のパソコンがなかった状況と比べると雲泥の差があります。		
275	安全性	開校前に在籍している子供たちの安全を考えていただきたいです。開校は楽しみです。（施設が大丈夫なのかと少し不安です。飛散防止フィルムが剥がれていたり、トイレの異臭がしたりしています。）		
276	現状への対応	学校の重点目標を決める際、もうすでに再編基本計画に縛られていると感じる。再編ありきではなく、目の前の子どもをよく見たい。大事にしたい。		
277	全庁体制 感じない	”全庁体制で進めます” 今のところ、あまりそのような意識の変化を、あまり感じないのですが…。		
278	跡地利用 活用	地小、御中(?)の跡地の有効活用をしてほしいです。地中が御中に統合した時には、跡地がパチンコ店になり、地域ががっかりしたことがありました。		
279	子育て世帯向け施策	牧之原の義務教育学校の良さをアピールして、他市町から多くの若い家族が移住できるよう、市をあげて子育て世代を優遇する施策を打ってください。		
280	まちづくり 見直し・対応	少子化が進む中で、学校の再編はやむを得ないと思う。2030年に向けて、また2030年以降、学校現場は混乱すると思われるが、子供や教員に影響が少ないことを望みます。人口の推移を見てみると、2050年には2030年よりさらに1,000人程度子供が少なくなると予想されている。私はその頃は生きているか分からないが、その時には新たな対応が必要になりますね。		
281	市の存続	20年後30年後牧之原市は存続しているのか？財政的に苦しいのは分かっているのに、他の市町に吸収合併される可能性はないのか。そうしたときに、この義務教育学校はどんな立ち位置になるのか、もっと10年後（義務教育学校）ができた時ではなくて、その先を見て教育委員会の方や市役所の人には説明をしてもらいたい。		
282		20年後・30年後には牧之原市は存続しているのか。他の市町に合併される可能性はないか。こういった先のことも考えて教育委員会や教育行政に携わる人に説明してほしい。		
283	要望	回答	教員からの意見や質問に対しては、誠実に答えてほしい。	
284	感想 情報共有	情報を教えていただけてありがたいです。		
285		新しい校舎になることは子供たちにとってとても楽しいことでしょうね		
286		(質問等は)ありません。なんとなくバンコクを思い出しました。忙しい中、視察お疲れさまでした！！		
287		もっと詳しい内容がないと、何を書いていいのかわからない。何について考えを述べればよいのかわからない。		